

目 次

はじめに	i
目次	ii
本データ集の見方（凡例）	vi
第1編 都市の本質	1
第1章 人口	
1 人口の現状から考える熊本市の都市政策	
① 男女別人口	2
② 市町村合併支援プラン等に基づく政令指定都市の人口比較	4
③ 年齢3区分別人口	6
④ 世帯状況	8
2 人口動態から考える熊本市の都市政策	
① 自然増減と社会増減	10
3 出生率から考える熊本市の都市政策	
① こどもの出生状況	12
② 女性の結婚年齢と出産	13
4 移動人口から考える熊本市の都市政策	
① 常住地別人口移動	14
② 男女別人口移動	15
③ 年齢別人口移動	16
④ 移動先別転入・転出者	18
第2章 都市基盤	
1 土地利用から考える熊本市の都市政策	
① 可住地、土地利用（地目別）	20
② 都市計画区域（市街化区域・市街化調整区域）、用途地域	21
2 都市交通特性から考える熊本市の都市政策	
① 外出率及び移動回数、移動に係る距離・時間	22
② 代表交通手段別・目的種類別の構成比	23
3 建物（住宅）から考える熊本市の都市政策	
① 建物（住宅）の建て方・所有	24
② 住宅における耐震化の促進	26

4	上下水道から考える熊本市の都市政策	
①	上水道・下水道等の普及	27
②	管路の計画的・適切な管理	29
5	地域防災から考える熊本市の都市政策	
①	防災意識の啓発	31
②	地域防災力の向上	32
第2編 都市の生活		33
第3章 健康・福祉		
1	健康づくりから考える熊本市の都市政策	
①	こどものむし歯	34
②	健診等、がん検診受診率	35
2	高齢者福祉から考える熊本市の都市政策	
①	高齢者福祉	37
②	介護人材	38
③	介護予防	39
④	認知症	39
3	障がい者（児）福祉から考える熊本市の都市政策	
①	障がい者（児）	41
②	相談支援	42
③	障がい者雇用率	44
4	生活支援から考える熊本市の都市政策	
①	生活保護	45
②	生活困窮者への支援	46
第4章 環境保全		
1	大気環境から考える熊本市の都市政策	
①	地球温暖化	47
②	大気環境の汚染物質	49
2	緑環境から考える熊本市の都市政策	
①	緑被率と緑被地の面積	51
②	都市公園の面積と箇所数	53
3	水環境から考える熊本市の都市政策	
①	地下水の水量と水質	55
②	河川の水質と分布	57

4	ごみから考える熊本市の都市政策	
①	ごみの排出量とリサイクル率	59
②	家庭ごみの分別収集とリサイクル	61
第5章 教育・文化		
1	こどもの権利から考える熊本市の都市政策	
①	いじめの現状	62
②	相談対応の状況	62
2	子育て支援から考える熊本市の都市政策	
①	幼稚園・保育園・認定こども園等の利用状況	64
②	児童扶養手当、就学援助費、児童育成クラブの利用状況	65
3	学校教育から考える熊本市の都市政策	
①	小・中学校の児童・生徒数及び学級編成等	66
②	授業等の支援状況	67
4	社会教育から考える熊本市の都市政策	
①	社会教育施設の施設数、博物館の利用状況	68
②	図書館の利用状況	70
5	コミュニティから考える熊本市の都市政策	
①	町内自治会、老人クラブ	72
②	公民館の利用状況	73
第3編 都市の産業		74
第6章 経済		
1	経済成長から考える熊本市の都市政策	
①	名目経済成長率	75
②	経済成長の要因	76
③	地域経済の循環	78
2	産業構造から考える熊本市の都市政策	
①	全産業	80
②	農業	82
③	林業	83
④	水産業	84
⑤	製造業	84
⑥	卸売業、小売業	85
3	観光施設から考える熊本市の都市政策	
①	観光客入込数・宿泊者数・観光消費額、外国人観光客入込数・宿泊者数	87

② 熊本城・桜の馬場城彩苑・水前寺成趣園の入園者数	88
4 雇用から考える熊本市の都市政策	
① 雇用の動向	89
② 雇用者の月給与額と産業分布	90
5 従業地等から考える熊本市の都市政策	
① 従業地等による就業状態等集計	91
② 転出者の労働力人口	92
③ 空家等の現状	94
6 財政から考える熊本市の都市政策	
① 歳入と歳出	95
② 財政指標	97
③ 市民所得及び1人当たり市民所得	98
④ 1人当たりの税	99
用語解説	100

本データ集の見方

テーマ リード文 SDGs 項目 T(トレンド)、R(ランキング)、P(プロファイリング)などグラフの種類

第1章 人口
1 人口の現状

人口の現状
から考える
熊本市の都市政策

現在、わが国全体で人口が減少している。国勢調査[※]結果を見ると、熊本市においても2020年度から人口減少に転じたことが分かる。そこで、2020年度の国勢調査結果等を元に、熊本市の人口について、政令指定都市等と比較するなど、熊本市の特徴について考える。

①男女別人口
②市町村合併支援プラン等[※]に基づく政令指定都市の人口比較
③年齢3区分[※]別人口
④世帯状況

①男女別人口

大都市 R

人口 (千人) 女性人口比 (%)

熊本市の人口は、大都市中18位である。
熊本市は男性より女性が多く、女性人口比では大都市中5位である。

熊本市 T

男女数推移(合併組替人口[※]) 第2次ベビーブーム(S46-49年)男女数推移(合併組替人口)

熊本市では経常的に男性より女性が多い。
男女数の差は広がる傾向にあるが、2020年では女性が減少に転じ、傾向に変化が見える。
第2次ベビーブーム世代の推移を見ると、20代前半までは男性が多いが、20代後半に男性が約3千人減少したことで、それ以降は女性の多い年代が継続する。

第1章 人口
1 人口の現状

熊本市 T

世帯における家族類型別割合の推移

単独世帯割合が増加する一方、夫婦と子から成る世帯割合が低下している。
夫婦のみ世帯とひとり親と子から成る世帯の割合は増加傾向である。

データからみえる熊本市の特徴

- 本市は、大都市の中で女性人口の割合が高く、20代後半以降で男性より女性が多いことが特徴である。ただし、2020年では20代後半で女性にも減少がみられる。
- 市町村合併支援プラン等に基づく政令指定都市の中では、人口推移や区毎の人口差について、バランスが取れている方だといえる。
- 本市は、大都市の中で年少人口(0~14歳)割合が最も高い。ただし、本市の年齢別構成の推移を見ると、年少人口(0~14歳)割合は減少し続けている。
- 母子世帯割合が大都市の中で最も高く、そのうち母子世帯割合も高い。さらに、ひとり親と子から成る世帯の割合は増加傾向にある。ひとり親世帯の支援が重要である。

対象地域

グラフから読み取れる
主なポイント

データからみえる熊本市の特徴

(凡例)

- 『データで考える熊本市の都市政策2025』は、原則として令和6年度末(2025年3月時点)までに公表されたデータを使用してグラフを作成したものです。
- グラフは、出典に掲載・公開されたデータに基づいて、都市政策研究所の研究者が独自に作成しました。このうち、2種のデータを使用して作成したグラフ(例:人口1人当たりの算出等)の「出典」の末尾には、「〇〇より作成」と明記しています。
- 大都市や政令指定都市の「人口1人当たり」は、5年に1回実施される国勢調査のうち、最新(2020年)の人口データに基づいて、都市別に算出・比較したものです。
- 「大都市」データは「政令指定都市」(20都市)データと「東京都区部」のデータを合わせたものです。
- 「大都市比較統計年表」から引用したデータであっても、特に東京都区部の数値が突出する(グラフ上での格差が大きく他都市が見えづらい)場合は、あえて東京都区部を除外し、「政令指定都市」だけで作成・比較したグラフもあります。
- 毎年定期的に報告されるデータから複数年分を引用したグラフでは、出典()内の年表記を省略しました。
- 年号は原則として西暦を用いましたが、「平成28年熊本地震」等の固有名詞の場合は和暦を使用しています。
- ページ右上のSDGsアイコンは、「熊本市第8次総合計画」の各章掲載分を参考にしつつ、本書で取り上げたテーマ・データ等を勘案してそれぞれ選択・掲載したものです。
- 「R」(ランキング)は都市間の比較・順位を、「T」(トレンド)は経年変化を、「P」(プロファイリング)は類型化した特徴をグラフで表したものです。
- 「R」(ランキング)のグラフでは、それぞれ数値が高い(低い)方が望ましいと考えられる順番に並べて掲載しています。望ましい基準が明確でない場合は、数字が大きい順番に並べて掲載しています。
- 「※」の付いた用語は、末尾に用語解説を掲載しています。